

5 March 2009 – Osaka, Japan

Thousand Days RECORDS

Contacts

Thousand Days Records

Anders Rasmussen
anders@prolinea-net.com

Takayoshi Yoshida (Japanese)
yoshida@prolinea-net.com

+81(0) 6-6538-0151

WWW.PROLINEA-NET.COM/THD

RELEASE FOR PRESS

TONE QUARTET – `TOMORROW`

1 / 3

この音 (Tone) を待っていた、大阪発ジャズシーンの急先鋒「Tone Quartet」が放つヴィンテージなデビューアルバム、堂々完成！

今回、リーダーの刀祢直和がこだわり続けてきた音楽性を表現するため、ヴィンテージ機材による録音を試み、完成したアルバムは個性豊かな四人の音楽性と融合して、まるで 1960 年代のアトランティックレコードを彷彿させるアルバムへと昇華させることに成功した。

(録音は GRAND-FROG STUDIO にて Mr. PAN 氏による)

2006 年、僕しかできないジャズがあると悩み、そして探し求めていた時に出会った 3 人の音 (Tone)

影山朋子には音の可憐さを、関谷友加里には音の美しさを、水上洋には音の楽しさを与えてもらった。彼らの感性に触発され共に作り上げた音・・・それが TONE QUARTET。そして 2009 年、4 つの音が重なり合って完成したこのアルバム「TOMORROW」、ぜひこのアルバムで「TONE QUARTET」を感じ取っていただきたい。ここには僕たちの音 (Tone) があるから・・・刀祢直和



1, TOMORROW	3:02
2, CARAVAN	5:12
3, TAKE THE 'A' TRAIN	5:16
4, AME NO HI	6:22
5, LETTER FROM MY KITTEN	4:40
6, GIVE ME SOME WATER	8:05
7, 1995	5:54
8, STARDUST	5:02
9, UNXIETY	7:51
10, DUKE ELLINGTON'S SOUND OF LOVE	4:57

Naokazu Tone : Bass / Tomoko Kageyama : Vibraphone / Yukari Sekiya: Piano / Hiroshi Mizukami : Drums

定価 2100 円 (税込み) 品番 THD-1903 発売 : サウザンドデイズレコード (06-6538-0151)

■ 刀祢直和 PROFILE

(Bass)

高校時代エレクトリックベースを始める、卒業後 Jive/Swing Jazz/New Orleans Jazz/Dixieland Jazz/Blues/Jump Bluesなどの古い音楽に影響されウッドベースに転向。

“Nishiguchi Jive5” のメンバーになり西日本のLive Houseで活躍

1992年 On the Hill Record から"ターミー"をリリース。

そのころからmodern jazzに興味を持ちはじめ、魚谷のぶまさ氏に師事。

また60's Garage Sound "Death Dealers" (現 Neat beats) を結成、活動を始める。

"Death Dealers" として1994年 1st EP - Kanpai Osakaリリース// UKインディーズチャートで4週連続1位

1995年 2nd EP - Oh My Soulリリース、全国各地のLive House で活躍。

UK Kaisers来日時Japan TourやUSA," Planet Rockers" Japan Tour、 UK、

"Cowboy Bounce" Japan Tour等のベーシストを勤める。その後、UK NO HIT Records から誘われ渡英。

Ronnie Dawson、Eddie Engel と トーラグスタジオでの録音に参加。

1995年 Rockin` & Rollin //Ronnie Dawson UK No Hit Recordからリリース。

そして再びジャズミュージシャンとして上山崎初美氏に師事。田村文利氏に音楽理論を師事。

1998年どぼちゃんカルテットに加入

アンクルレーベルのオムニバスCDに参加リリース。

NYのセッションを経験したく幾度となく渡米長期滞在 NY在住ミュージシャンとの共演セッションをかさねる。

フラメンコJazz Azle、動揺Jazz Waja のメンバー加入、2003年ミニCD" umi" (海) をリリース。

NHK神戸トアステーションなど複数テレビ出演

2006年 関西若手の先鋭を集め" Tone Quartet" 結成。

Jazz Club/ Jazz Live House/だけにとどまらず Club Jazz、Nu Jazz ,Live House Jazzシーンにも進出。

浜辺シゲキバンドベーシストに加入、Rockの活動も復帰 (ウッドベース)

2007年8月 Tone Quartet 1st ミニアルバム Flamenco sketches リリース

現在Jazzを中心にベーシストとして関東/近畿/東海/北陸/沖縄でjazzを中心に色々な音楽で活躍中。

■ 関谷友加里PROFILE

(Piano)

大阪音楽大学短期大学部ジャズコースを首席で卒業。畑本浩氏、石井彰氏に師事。在学中よりプロとして演奏を開始する。

2005年夏、ピアノトリオCD「a sunset glow」を自主制作で発表。

2006年3月、ポールブレイ氏の直弟子、世界的ピアニスト藤井郷子氏に出会う。

自由な発想とプレイに衝撃を受け、フリースタイルの音楽に強く惹かれる。

現在、オリジナルを作曲することに力を入れる傍ら、インプロヴィゼーションでの表現もしている。自らアレンジを手掛ける木管グループ「鹿鳴管」、

また音楽、演技、ダンスの奇怪集団「メロンオールスターズ」、Tone Quartet で活動中。

■ 影山朋子PROFILE

(Marimba, Vibraphone)

大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。

在学中より、クラシック、ジャズ、ラテン、ロックなどで演奏活動を始める。

クラシックのマリンバsoloでは、ザ・コンチェルトコンサートにて小田野宏之氏指揮・カレッジオペラハウス管弦楽団と共演。

朝日推薦演奏会（於：シンフォニーホール）、日本打楽器新人演奏会、2006KACCコンサート、舞コンサート等に出演。ジャズ・ビブラフォンでは、NHK神戸放送局トアステライブでTV,ラジオに出演。また、女性ジャズユニット・フローレスのメンバーとして、大阪ブルーノートにて開催された宮本直介氏JAZZ LIFE50周年祝賀会や、津山総合国際音楽祭等にも出演。

2007年TONE QUARTETでファーストミニアルバムを制作。

2008年レゲエ歌手マキシプリースト（踊る大捜査線のエンディングテーマでおなじみの）のインストによるカバーアルバムのレコーディングにマリンバとビブラフォンで参加する。現在は、主にジャズを中心にライブハウス・レストラン・カフェ・クラブ・イベント等に出演するほか、写真や絵画とコラボレーションするなど、自由な音楽性で幅広く活動している。自己のユニットの他に、TONE QUARTET、メロンオールスターズ、Flawless、Quartet Camalero (タンゴ・ジャズバンド)などに参加している。マリンバを宮本慶子、ラテンパーカッションを西野欣哉、ジャズビブラフォンを鍋島直昶の各氏に師事。神戸マリンバソサエティ所属。

■ 水上洋PROFILE

(Drums)

中学、高校と吹奏楽の打楽器で音楽を始める。高校で打楽器を小山哲久 氏に師事。

大阪音楽大学短期大学部Jazzコースに入学。Drum を宮川彪氏に師事。

現在 関西のライブハウスを中心に活動中。